

【「新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言の延長」についてのアンケート】

## 新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言の延長について 宮城県内生活者の意識を調査

休業要請が解除されても今なお不安、学校の9月入学制導入には賛否

マーケティングリサーチサイト「インサーチ仙台」にて実施いたしました「新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言の延長」についてのアンケート結果をお知らせいたします。「インサーチ仙台」は仙台市の広告会社である第一エージェンシーが「仙台・宮城の企業を元気にする」というキャッチフレーズで運営しています。

### TOPICS

- ★緊急事態宣言の延長は99.6%が認知、一方で「新しい生活様式」については75.7%が理解。
- ★宮城県の休業要請解除については「支持する」51.9%、「支持しない」39.7%。
- ★休業要請が解除されても43.2%が「積極的に利用しない」。  
積極的に利用したい施設としては「商業施設」(36.3%)と「飲食施設」(32.5%)が多数。
- ★GW期間中にテイクアウトや宅配サービスを利用したのは45.9%。中でも1~2回利用が最多。
- ★宮城県の県立学校の臨時休校の延長については「支持する」67.3%、「支持しない」24.5%。
- ★「9月入学制」については「賛成」35.9%、「反対」19.4%、「どちらでもない」44.7%。

### <調査項目> ★…本レポート掲載

- ★「新型コロナウイルス特措法に基づく緊急事態宣言延長」の認知 (基本属性)
- ★感染拡大を長期的に防ぐための「新しい生活様式」の内容認知 • 性別
- ★宮城県の休業要請解除方針への支持・不支持とその理由 • 年代
- ★休業要請解除に伴い「利用したい施設・機関」 • お住まいの地区
- ★GW期間中のテイクアウト・宅配サービスの利用状況
- ★宮城県の県立学校の臨時休校延長への支持・不支持
- ★「9月入学制」についての賛否とその理由

### 調査概要

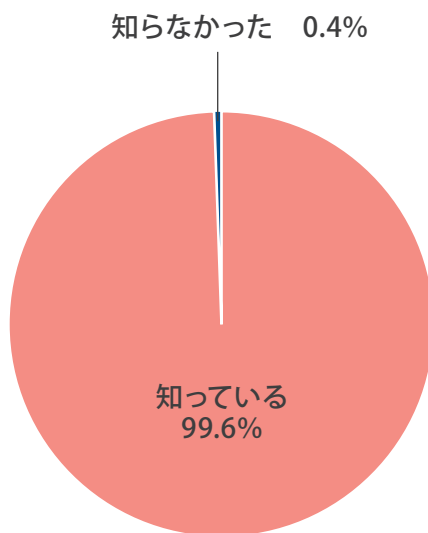
- 調査目的 / 「新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言の延長」に伴う意識調査と情報提供
- 調査方法 / インサーチ仙台のモニター対象のインターネット調査
- 分析対象者 / 宮城県内在住の18歳以上の男女
- 調査実施期間 / 2020年5月6日(水・祝)~5月7日(木)※12:00迄
- 有効回答者数 / N=474
- 実施機関 / 株式会社第一エージェンシー

全体	474名	100%
男性	159名	33.5%
女性	315名	66.5%

全体	全体	全体 (%)
計	474名	100%
18~39歳	78名	16.5%
40~49歳	140名	29.5%
50~59歳	151名	31.8%
60歳以上	105名	22.2%

Q. 政府は5月4日、新型コロナウイルス特措法に基づく全都道府県への緊急事態宣言を5月31日まで延長することを決定しました。あなたはご存じでしたか？（ひとつだけ）

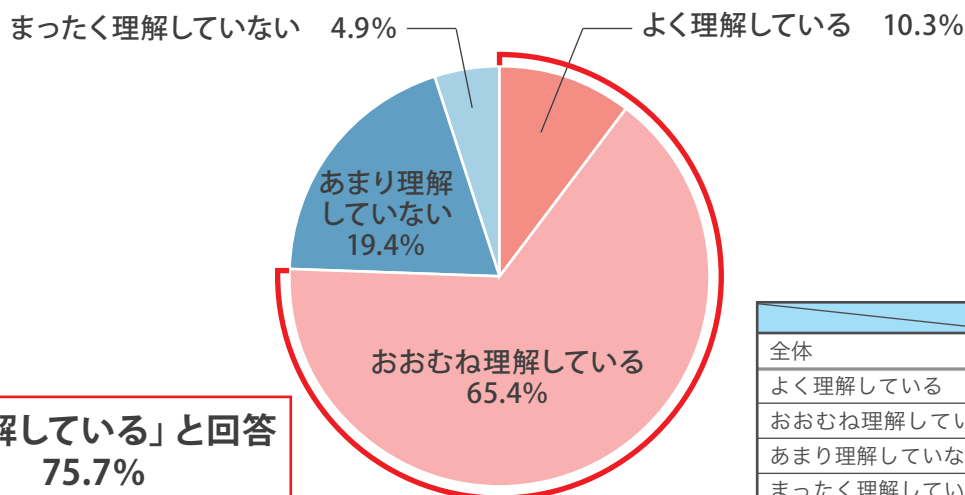
**緊急事態宣言の延長について、99.6%が「知っている」と回答。**



	N数	%
全体	474	100.0
知っている	472	99.6
知らなかった	2	0.4

Q. 東京都、大阪府など13の「特定警戒都道府県」以外の、宮城県を含む34県については「新しい生活様式」を徹底することを前提に制限が緩和されます。この「新しい生活様式」について、あなたはその内容についてご存じですか？（ひとつだけ）

**「新しい生活様式」について、75.7%が「理解している」と回答。**  
 （よく理解している：10.3%、おおむね理解している：65.4%の合計）

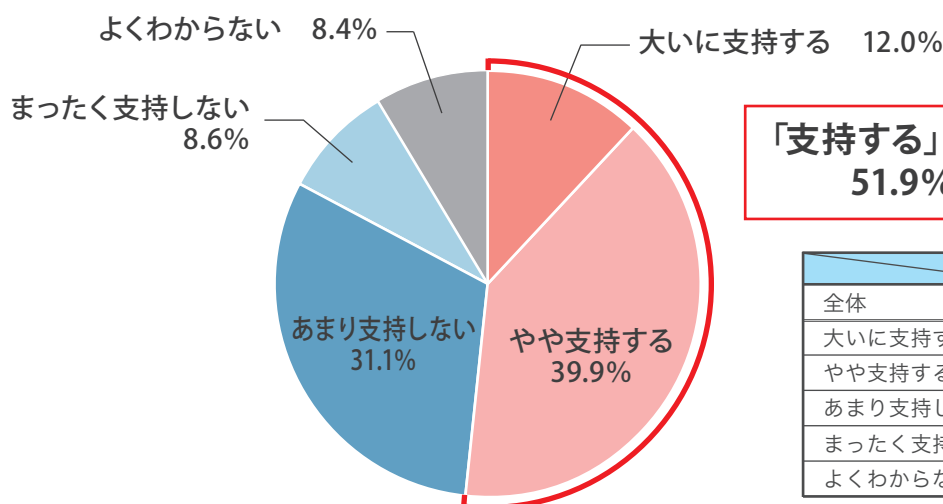


	N数	%
全体	474	100.0
よく理解している	49	10.3
おおむね理解している	310	65.4
あまり理解していない	92	19.4
まったく理解していない	23	4.9

**「理解している」と回答  
75.7%**

Q. 宮城県は、県内の事業者への休業要請を5月7日以降は継続しない方針を示しました。防疫対策の徹底を前提に、その解除対象は遊興施設や飲食店、大学など約2万9千の事業所です。あなたは、この方針を支持しますか？（ひとつだけ）

「大いに支持する・やや支持する」という回答の合計が51.9%、  
「あまり支持しない・まったく支持しない」という回答の合計が39.7%。



「支持する」と回答  
51.9%

	N数	%
全体	474	100.0
大いに支持する	57	12.0
やや支持する	189	39.9
あまり支持しない	147	31.1
まったく支持しない	41	8.6
よくわからない	40	8.4

## 「大いに支持する」「やや支持する」理由

### ●県内の感染者が増えていないから

「コロナが仙台市は収まっているので、あえて国の要請に従う必要はないと思うので。」  
「感染者0が8日（※5/6時点）続いていることからの判断と経済とのバランスに支持できる。」

### ●感染拡大に不安を感じつつ、経済の停滞は避けたいという声も

「このまま補償なき休業要請が続いては、経済的死者が増えるだけ。」  
「コロナの感染も心配だが、休業が長期になると経済活動が停滞するので、コロナ対策を取りながらの再開を支持。」  
「大いに支持するが、全ての業種で解除するべき。もう、感染防止は無理なので。」

### ●県外からの流入を制限して緩和

「県をまたぐ移動を制限し、県内で気を付けていけば、経済を回す必要があると思う。」  
「特定警戒地域への移動・移入の制限を強く示せばいいのでは。」

## 「あまり支持しない」「まったく支持しない」理由

### ●連休明けすぐの判断が早すぎる・もう少し様子見が必要

「拙速すぎる。油断してクラスターができたり感染が拡大したらこれまでの努力が水の泡。」  
「ゴールデンウィークが終わりおおむね2週間が経過して感染者の有無をみてからにして欲しかった。」

### ●クラスター・第二波の懸念

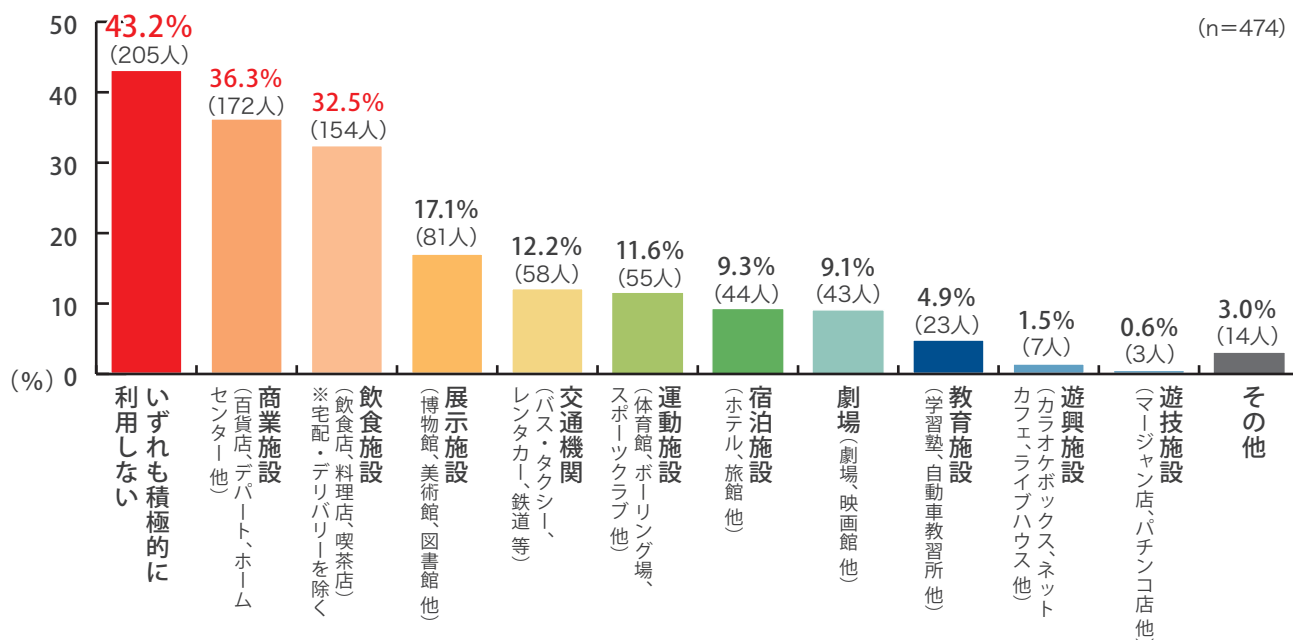
「第二波が来そうで怖い。公共の施設はまだ開けない方がいいと思う。学校は5/31まで延長なのだから。」  
「緩めると北海道のように第二波が起こる可能性があるから。」  
「これが原因でまた感染が広がるのではという不安。解除を全て自由と勘違いしてる人もいるのでは？」

### ●防疫対策にまつわる意見や解除の基準、段階的な解除を求める声も

「防疫対策の徹底を前提での解除というのが曖昧で、徹底の基準も曖昧だから。」  
「消毒液・マスク不足で防ぎようがないから。」  
「一気に解除せずに、段階的に解除する方がいいと思う。」

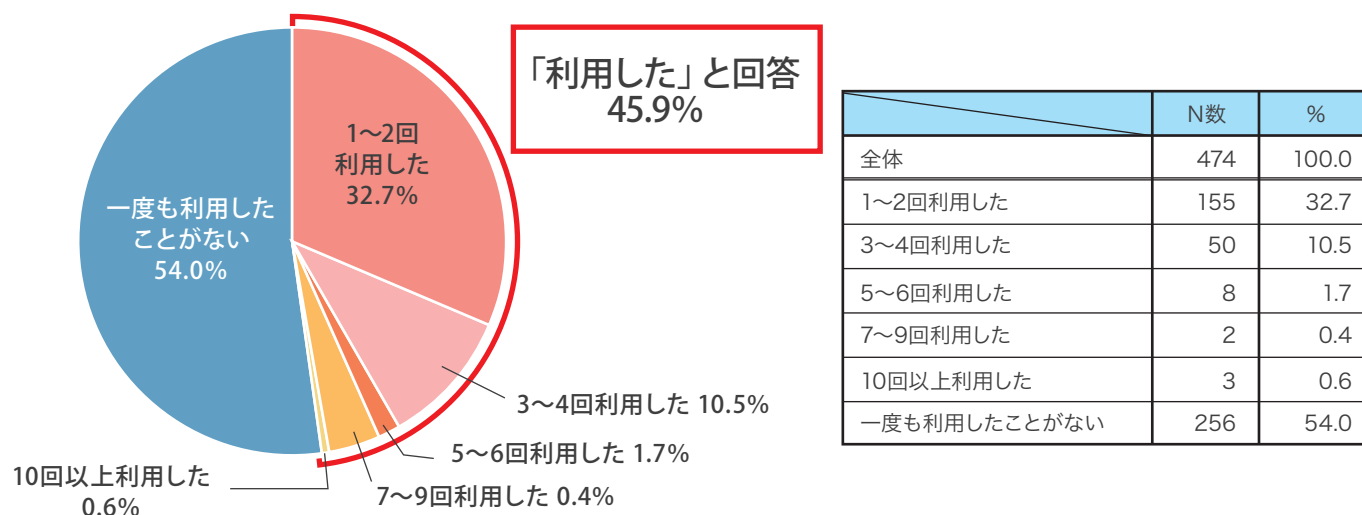
Q. あなたが5月7日以降、積極的に利用したい宮城県内の施設・機関は何ですか？あてはまるものをすべてお答えください。(いくつでも)

最も多いのが43.2%の「いずれも積極的に利用しない」。  
 利用したい施設としては「商業施設」36.3%、「飲食施設」32.5%。



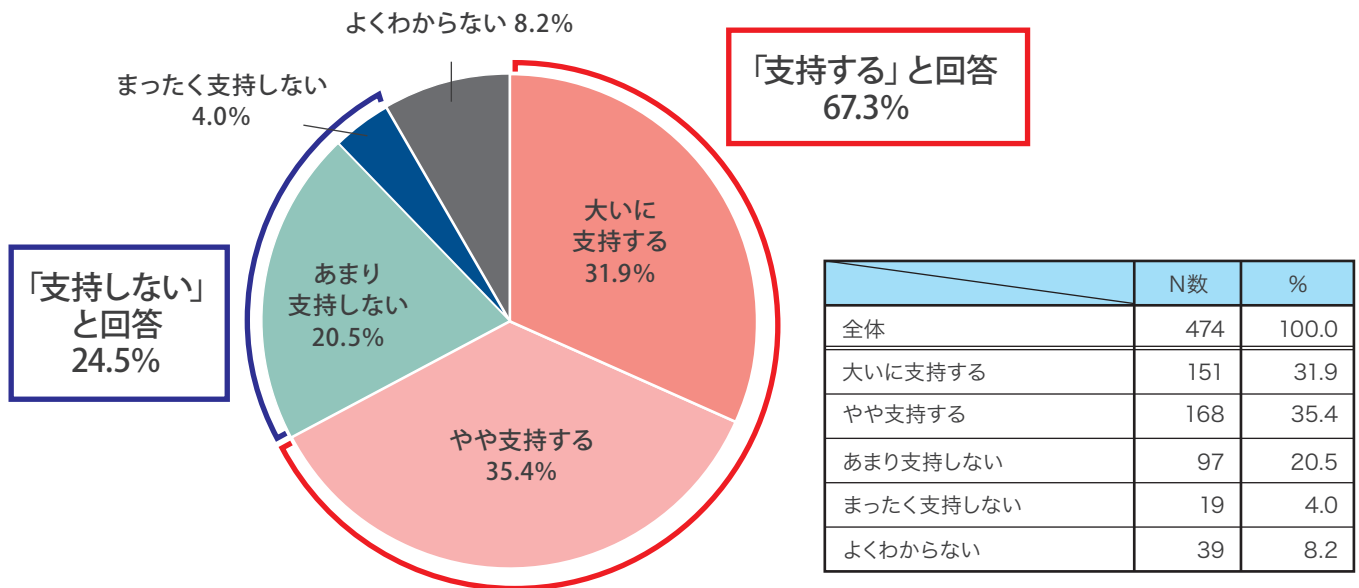
Q. 新型コロナウイルス感染拡大に伴う外食自粛ムードの中、テイクアウトや宅配サービス等に取り組む事業者が増えています。このゴールデンウィーク期間中 (4/25 ~ 5/6)、あなたは利用しましたか？ (ひとつだけ)

GW 期間中、45.9%がテイクアウトや宅配サービスを「利用した」。  
 「利用した」回答者の中では、1~2回が32.7%で最多。



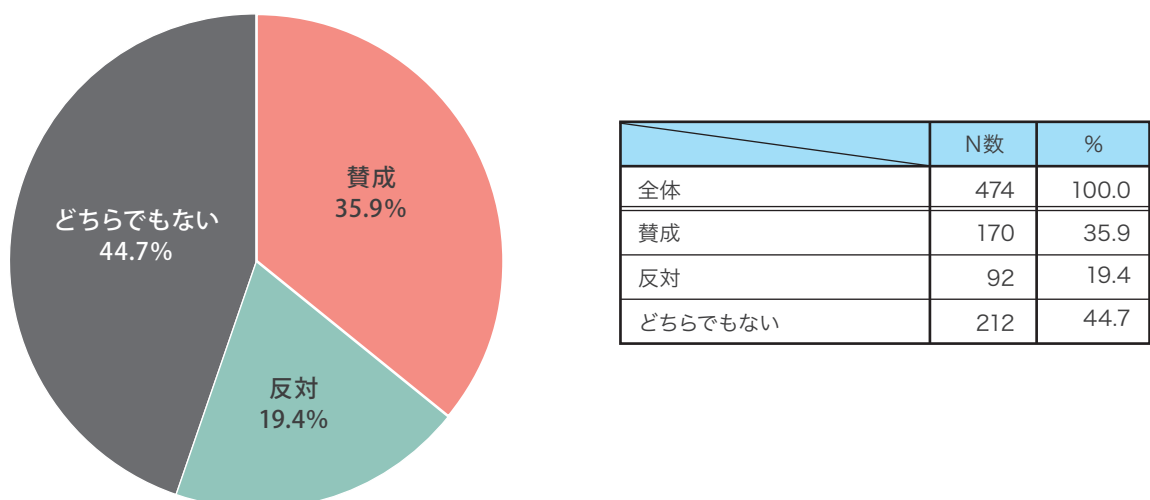
Q. 宮城県は、緊急事態宣言の延長を受けて県立学校の臨時休校について 5 月 31 日まで延長する方針を示しました。あなたは、この方針を支持しますか？（ひとつだけ）

**67.3%が「支持する」と回答**（「大いに支持する」31.9%、「やや支持する」35.4%）。  
**「支持しない」は 24.5%**（「あまり支持しない」20.5%、「まったく支持しない」4.0%）。



Q. 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う学校の臨時休校を受け、入学や新学期の開始を 4 月から 9 月に変更する「9 月入学制」について議論が高まっています。あなたは、「9 月入学制」について賛成ですか？ 反対ですか？（ひとつだけ）

**9 月入学制について「賛成」が 35.9%、「反対」19.4%。**  
**その一方で、約半数の 44.7%が「どちらでもない」。**



Q.【前問で「賛成」「反対」とお答えになった方のみ】あなたが前問でお答えになった回答（賛成・反対）の理由をご自由にお書きください。

※「賛成」「反対」それぞれの自由回答を抜粋

## 「賛成」の理由

### ●世界基準に合わせる良い機会

「世界的に見れば4月入学の方が少数派であり、グローバルな流れに乗るべき。」  
「国際化を考えるならば学校、企業活動、国民生活等々が一齐に休止から立ち上がる時期なので絶交の機会である。」  
「世界的に見て9月入学制が主流であるし、休校の期間のロスを取り戻すのは大変。」

### ●子供たちに充実した学校生活を

「このまま学校再開しても詰め込み授業で夏休みも短縮、土曜登校にしても子供たちのやる気が続かないと思う。」  
「何の思い出もない、満足な学びもない2020年の子供たちが悲惨過ぎる。」  
「遅れを取るために夏休みなどを短くして勉強するのは良いが部活や学校行事が減るのはかわいそう。」

### ●学力格差や授業の遅れによる心配の解消

「一律スタートが望ましい。地域ごとの学力のばらつきが心配なため。」  
「この機会に9月開始にすれば学力の遅れ等気にしなくて済む。」  
「授業の遅れを取り戻すのは難しいので、9月から仕切り直した方が良い。」

### ●受験の時期の心配事が減る

「冬場の受験はインフルエンザや雪による交通機関の遅れなど、受験者にリスクがあるため。」  
「国際的に9月新学期制になってるし、受験シーズンもインフルエンザや気候の影響も受けにくいのではないか。」

### ●オンライン化を求める声も

「従来の考えは捨てて夏にマスクしながら学校は考えられない！希望としては、9月からオンライン学習を希望！」

## 「反対」の理由

### ●今、検討すべきことではない

「今はコロナ対策が優先課題であり、普通の生活ができる時点で検討すればいい。」  
「この状況で検討すべきではない。いずれはそうなるのも良いと思うが、じっくり検討できる時期にすべき。」  
「9月にスムーズに切り替えられるのならいいが、とてもそうは思わないし、まずはもっと重要なコロナ対策を。」

### ●準備期間が短い

「学校での準備ができていない。教育課程を変える必要がある。行政の年度と一致しない。」  
「変更することによって様々な事務手続きで負担と資金がかかるので。」  
「9月入学制そのものは悪くないが準備期間は必要、論議しないで行き当たりばったり決めている。」

### ●他との年度の区切りの違いを懸念

「現在の社会活動は企業や役所等4月が年度始まりであり、単に学校だけの問題ではないから。」  
「学校だけの問題ではなく日本社会全体に影響及ぼす重大案件だ。どさくさ紛れで決定すべきではない。」  
「社会全体への影響が大きい。今すべきことはグローバル化ではなく国内経済活性化。」

### ●日本の文化を残したい

「4月開始は日本独自なので残したままの方がいい。」  
「今、コロナで、そうなるだけで、春サクラ咲く時期の新学期や入学は日本ならでは！世界に合わせる必要ない。」

### ●新しい学年の振り分けに不安も

「課題が沢山あると思う。同級生の生年月日も変わるのか？簡単には変えて欲しくない。当事者が振り回される。」

以上

下記アンケートについては、先述の調査の目的・実施期間・有効回答者数とは別に実施したものです。ご確認の上、ご利用ください。

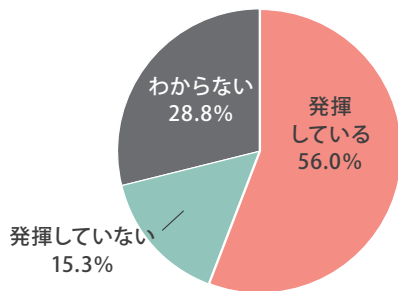
【「新型コロナウイルスの感染拡大防止」についてのアンケート】

## 宮城県知事・仙台市長のリーダーシップについて

宮城県民 56.0% が「知事はリーダーシップを発揮している」  
 仙台市民 36.4% が「市長はリーダーシップを発揮している」と回答

Q. 宮城県内における新型コロナウイルス感染拡大防止のために、村井知事はリーダーシップを発揮していると思いますか？（ひとつだけ）

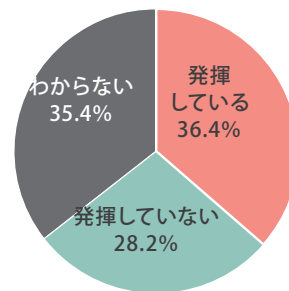
半数以上の 56.0% が、村井知事はリーダーシップを「発揮している」と回答。



	N数	%
全体	511	100.0
発揮している	286	56.0
発揮していない	78	15.3
わからない	147	28.8

Q. 仙台市内における新型コロナウイルス感染拡大防止のために、郡市長はリーダーシップを発揮していると思いますか？（ひとつだけ）

郡市長については、回答がほぼ均等に分散したものの、「発揮している」が 36.4% で最多。



	N数	%
全体	376	100.0
発揮している	137	36.4
発揮していない	106	28.2
わからない	133	35.4

### 調査概要

- 調査目的 / 新型コロナウイルス感染拡大防止に対する意識調査と情報提供（一部抜粋）
- 調査方法 / インサーチ仙台のモニター対象のインターネット調査
- 分析対象者 / 宮城県内在住の18歳以上の男女
- 調査実施期間 / 2020年4月24日（金）～4月28日（火）
- 有効回答者数 / N=511
- 実施機関 / 株式会社第一エージェンシー

	N数	%
全体	511名	100%
男性	159名	31.1%
女性	352名	68.9%

	全体	全体 (%)
計	511名	100%
18～39歳	72名	14.1%
40～49歳	148名	29.0%
50～59歳	179名	35.0%
60歳以上	112名	21.9%

※仙台市民の方の内訳は以下のとおり

[分析対象者数] 376人（100%） [性別] 男性119人（31.6%）、女性257人（68.4）

[年代] 18～39歳57人（15.2%）、40～49歳102人（27.1%）、50～59歳129人（34.3%）、60歳以上88人（23.4%）

本レポートに掲載されている調査結果は、

下記ご連絡の上、出典先を「インサーチ仙台」と明記の上、ご利用ください。

[インサーチ仙台ホームページ] [www.insearch.jp/sendai/index.html](http://www.insearch.jp/sendai/index.html)

#### <お問い合わせ先>



株式会社 第一エージェンシー インサーチ仙台事務局

担当：引地、斎藤 【メール】 [a-hikichi@agency.co.jp](mailto:a-hikichi@agency.co.jp)

【電話】 022-262-4741 (平日のみ)

※土日祝日の場合はメールをお送りください。